

## 柳沢遺跡の調査状況について

- 1 出土場所 中野市大字柳沢（千曲川と夜間瀬川の合流地点付近）
- 2 発掘主体 長野県埋蔵文化財センター（千曲川柳沢築堤工事に伴う発掘調査）
- 3 出土品 (1) 銅戈 ・ 出土 2 点(完形で全長 32.3 cm と 36.0 cm)  
 ・ 土中 5 点(寸法等未計測)  
 (2) 銅鐸 ・ 出土 1 片(長さ 8.0 cm)  
 ・ 土中 1 点(寸法等未計測、出土片と同一固体の可能性あり)
- 4 埋納坑 (1) 形状 平面：隅丸長方形(推定) 断面：逆台形  
 (2) 規模 東西 80 cm、南北 50 cm(現存部分のみ)、深さ 20 cm  
 (3) 時代 弥生時代中期から後期頃  
 (4) 状況 埋納坑の南側で弥生時代の水田跡や溝跡を確認  
 埋納坑の北側では礫床墓群を確認
- 5 経過 10.17(水) ・ 銅戈(1 点目)を埋納坑壁面で出土  
 ・ 銅鐸片を埋納坑北側の排水溝底で発見  
 10.19(金) ・ 銅戈(2 点目)を埋納坑北側の排水溝底で発見  
 10.31(水) ・ 新たに銅戈 5 点と銅鐸 1 点を埋納坑内で確認  
 11.01(木) ・ 県埋文センターが「柳沢遺跡調査指導委員会」(※1)を設置  
 11.16(金) ・ 礫床木棺墓を埋納坑の北 40m 付近で発見  
 11.19(月) ・ 遺跡の劣化防止のため、埋納坑の移設作業を開始  
 発砲ウレタンで保護・切取り(縦 160 cm.横 120 cm.高 70 cm)  
 11.28(水) ・ 埋納坑を県立歴史館に搬入(調査・分析を継続)
- 6 今後の予定
- ・ 1 月下旬～2 月下旬 埋納坑からの銅戈・銅鐸の取り上げ
  - ・ 2 月 9 日(土) 柳沢遺跡に関する講演会(歴民主権)
  - ・ 3 月 15 日(土) 柳沢遺跡シンポジウム「柳沢遺跡を語る」(県埋文センター主催)
  - ・ 4 月中旬 現地での調査を再開

(※1) 「柳沢遺跡調査指導委員会」(◎：委員長 ○：委員長職務代理者)

◎笹沢 浩 (長野県遺跡調査指導委員)

○工楽 善通 (大阪府立狭山池博物館長)

石川 日出志 (明治大学文学部教授)

難波 洋三 (京都国立博物館情報管理室長)

村上 隆 (奈良文化財研究所上席研究員)

吉田 広 (愛媛大学法文学部准教授)

※ 県教委 文化財・生涯学習課 町田指導主事と中野市歴史民俗資料館 中島副館長が、  
オブザーバーとして参加